

第3学年 「すきな本をしょうかいしよう」

第4学年 『ごんぎつね』への思いを深めよう」

5 本時案 (7/15)

- (1) ねらい ごんじいの会話や行動の様子を読み取り、こうたとの別れの場面のごんじいの気持ちを考えることができる。
- (2) 準備物 教材文(拡大)、意見カード、ワークシート(手紙)
- (3) 学習過程

5 本時案 (9/16)

- (1) ねらい 兵十の言動から心の変化の過程を読み取り、友達との話し合いを通して、ごんを撃った後の兵十の気持ちを考えることができる。
- (2) 準備物 教材文(拡大)、意見カード、ワークシート(気持ち書き込み用、兵十日記用)、発問カード
- (3) 学習過程

教師の支援と評価	学習活動・内容	過程	過程	学習活動・内容	教師の支援と評価
○前時に自分の考えを書いたプリントを配り、本時の課題を再確認し、学習への意欲を高める。	1 ごんじいとこうたの別れの場面を音読し、学習のめあてを確認する。	つかむ・調べる	つかむ	1 学習のめあてを確認し、音読する。	○前時の学習とのつながりを意識して、音読するようにする。
	別れの場面のごんじいの気持ちを考えよう				6 場面の兵十の気持ちを考えよう。
	論理的な思考力や表現力が発揮される場面	高め	調べる	2 兵十の行動や会話などに着目し、兵十の気持ちを読み取り、意見カードに書く。	○自分の考えの根拠となった文に線を引かせ、理由が明確になるようにする。
○なるべく本文から根拠を持たせるようにし、理由と共に自分の意見を発表できるようにする。	2 前時に考えた自分の意見を発表し、ごんじいの気持ちを話し合う。			・うなぎをぬすみやがったごんぎつねめが	○誰の意見か分かりやすくするため、意見カードの色を変える。また、黒板に掲示されている教材文に提示することで、互いの読みが理解しやすくする。
○意見カードの色を分け、誰の意見か分かりやすくすることで、友達の意見と比較しながら発表しやすくする。	・「ああっ、こうた・・・。」	高め	調べる	・「ようし。」	○早くできたら、リーダーの司会によって、兵十の気持ちを発表し合うようにする。
○「なぜ、少し悲しそうな顔をしたのか」と投げかけることで、人間ときつねの相容れない関係について気付かせる。	・「そうか、きつねとわかってしまったら～」			・足音をしのばせて近よって	
○「なぜ、少し悲しそうな顔をしたのか」と投げかけることで、人間ときつねの相容れない関係について気付かせる。	・少し悲しそうな顔をする～	高め	調べる	・かけよってきました。	
○「テケテン テケテン テケテケ テン・・・」と、こうたがどんな気持ちでをたいこをたたいているか考えさせることにより、ごんじいとこうたの心の通い合いに気付かせる。	・「何度も何度もとうげの方をふり返って～」			・「おや。」	
○「なぜ、少し悲しそうな顔をしたのか」と投げかけることで、人間ときつねの相容れない関係について気付かせる。	・「うんうん、こうた・・・。またいつか～」	生かす	調べる	・「ごん、おまえだったのか。いつも～」	
○早くできた児童は、友達と交換し、読み合うようにする。				・火なわじゅうをばたりと取り落としました。	
○手紙形式のワークシートを用意することによって、ごんじいの気持ちを表現しやすくする。	3 ごんじいからこうたへの手紙を書き、発表する。	生かす	調べる	3 兵十の気持ちを読み取り、心の移り変わりについて話し合う。	○いつ兵十の気持ちが変わったのか考えさせることにより、ごんが現れたときとごんのつぐないを知った後の兵十の気持ちと比較できるようにする。
○書くのに戸惑っている児童がいたら、2の活動を想起させ、ごんじいの会話や行動の様子をふり返るように助言する。	・悲しい気持ち				
○早くできた児童は、友達と交換し、読み合うようにする。	・再会への思い	生かす	調べる	<兵十の気持ちの変化>	○発表を整理して板書し、児童の考えを深めたり広げたりできるようにする。
					憎しみ → → 驚き → → 後悔
				4 ごんを撃った日の兵十の日記を書き、兵十の気持ちを発表する。	

【評】 本文を根拠に、理由を付けて自分の考えを積極的に発表することができたか。(発表)

論理的な思考力や表現力が発揮される場面

【評】 本文を根拠に、理由を付けて自分の考えを積極的に発表することができたか。(発表)